

エダマメ新品種 つきよね 『月夜音 (SB1015)』 の特性と栽培の要点

雪印種苗(株)園芸作物研究グループ
野菜研究チーム 本多 範久

1.はじめに

エダマメは古くからビールのおつまみとして、多くの人々に親しまれてきましたが、豊富なタンパク質やビタミン類、カルシウムなどを含む栄養価の高い健康野菜として、その需要も着実に増し、ほぼ一年中を通して消費されています。

作型でみると、大部分は露地（マルチ含む）栽培が依然主体となっておりますが、ハウスやトンネル等の早出し栽培が高値で価格が安定していることから、各地で作型の前進化がみられます。ただし、5月出荷のハウス、6月出荷のトンネル栽培は、春先の天候が不安定の中での栽培となるため、収量性の変動が大きく、より着莢性の安定した品種、また、栽培管理が求められています。

来春より発売する新品種『月夜音（試作番号：SB1015）』は、サッポロミドリより熟期の早い極早生品種で、各地の早播き栽培で利用できます。特に低温着莢性に優れており、ハウスやトンネル等の作型に適した品種です。以下に本品種の特性および栽培の要点についてご紹介致します。

2.『月夜音』の品種特性

1) 熟 期

直播での露地（マルチ含む）栽培においては、ほぼサヤムスメ並みの熟期で、関東平原地での標準露地マルチ栽培では約85日程度の生育日数となります。ただし、移植による早播き栽培では早生化し、サッポロミドリより4日程度早い極早生品種です。

2) 草 姿

移植栽培では草丈および主茎長はサッポロミドリより低く、草勢はややおとなしくコンパクトで、サッポロミドリほど過繁茂になる心配は少ない品種です。分枝の発生が比較的少なく、葉かきの手間がかからず、枝付き出荷に向いています。

3) 莢の形質

サッポロミドリよりやや小莢でやや淡色ですが、ふくらみ良好で、ボリューム感があります。毛茸は白毛で、茹であがりの色はきれいな鮮緑色となります。

4) 食 味 ～甘く、おいしい！～

育成の過程で食味の良いサッポロミドリを利用しているため、甘味に優れ、

食味は非常に良好です。甘味が強く各産地で評価頂いています。

5) 収量性 ～多収型の品種！～（表1）

サッポロミドリを含む他の極早生種より着莢数多く、多収です。特に、ハウスやトンネル栽培では、低温時の着莢性が安定しており、落花や落莢、くず莢の発生が比較的少なく、早播きでの収量性に優れています。

3. 上手な利用法

1) 『月夜音』は枝付き、束出荷に最適！

主茎が伸びにくく、節間が詰まるため、切り枝出荷や束出荷に最適です。主茎長が短いため、手間のかかる枝戻し等の必要もなく、また比較的分枝の発生が少ないため、出荷調整の摘葉も他品種より少なく済み、作業性に優れています。

2) 極早生種の『月夜音』は早出し向き！

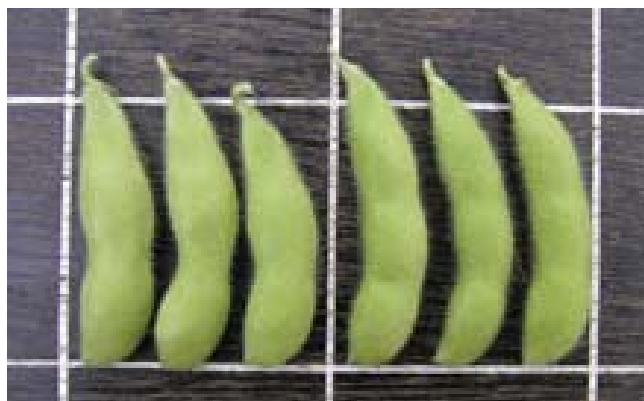
サッポロミドリより4日、莢音より2日程度早い熟期で、しかも草勢が抑えられる心配が少ないため、作型としてはハウスやトンネル等の早出し出荷栽培に最適です。露地マルチ栽培にも十



▲『月夜音』栽培風景（ハウス栽培）

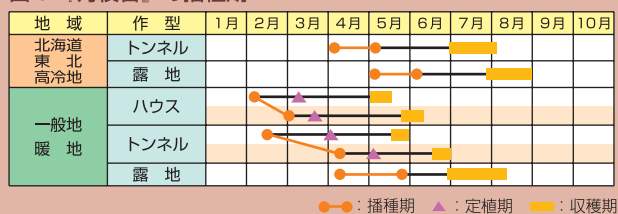


▲『月夜音』の草姿、着莢



▲『月夜音』の莢の形状

図1.『月夜音』の播種期



分適応できますが、極早生の特性を活かす上では、早期出荷を目指す作型で、そのメリットは大きくなります。

4. 適応地域および播種適期

(図1)

1) 北海道、東北、高冷地

4月上旬～5月上旬 (トンネル)

5月上旬～6月上旬 (マルチ)

2) 一般地、暖地

2月上旬～3月上旬 (ハウス)

2月下旬～4月上旬 (トンネル)

4月上旬～5月下旬 (マルチ)

5. 栽培のポイント

1) 作型による肥培管理の調整

サッポロミドリ並みの草丈になっても過繁茂になることは少なく、草勢については、やや強めにつくることが本品種の増収につながります。ただし、ハウス等の条件が良過ぎた場合、節間伸張や倒伏の恐れもあり、過度の密植

や多肥栽培は避けてください。通常ハウス栽培では露地栽培より2～3割程度肥料を抑えめにします。

2) 若苗での定植と速やかな活着

老化苗での定植は、根傷み等によって草勢を弱らせる大きな要因となります。定植は初生葉展開期中におこなうことが原則です。また、定植日は天候の穏やかな日を選び、できるだけ根を傷めないよう注意し、定植直後には十分灌水し、その日のうちに速やかに圃場に根が活着するよう作業をおこないます。

3) ハウス、トンネル内の温度管理

エダマメの着莢は開花期の温度と湿度に大きく影響を受けます。特に開花初期の強いストレスは花落ちや不稔莢の発生を招き、その後長期間に渡って開花している状態(無駄花)が続きます。

ハウス、トンネル内は昼夜の温度較差が大きく、換気と保温にはこまめな管理が必要です。昨今トンネル栽培では有孔フィルムや不織布との組合せで極力手間のかからない工夫がなされて

きましたが、最も重要となる開花期については、生育状況の確認も含め、こまめなチェックを心掛けてください。

4) 病虫害防除

ハウスやトンネル栽培では莢に影響を及ぼす害虫の発生は少ない一方で、葉付き出荷の場合は葉も商品となるので、葉に発生する病害虫の防除が必要になります。特にハウスやトンネルでは肥料や水分バランスの乱れによって、ダニやうどんこ病が発生しやすいため、生育初期から予防的な薬剤による防除を心掛けます。

5) 適期収穫の徹底(無理のない作付け面積)

本種は葉色、莢色ともやや淡く、また極早生のため、収穫適期以降の退色黄化が若干早い傾向にあります。収穫は止め葉の変色や下葉の褐変等も目安にして、取り遅れることのないよう適期収穫に心掛けてください。通常1回の播種分については4日程度で収穫を終える面積で作付けし、一度に作り過ぎないように注意が必要です。

6. おすび

今回、ご紹介した『月夜音』は各地の早出し栽培における切り枝、束だし出荷に向く、着莢の多い多収型の極早生エダマメです。本種の特性を生かし、また、栽培のポイントを良く理解して頂いて、良品を安定出荷されることを期待しております。

表1.エダマメ品種の特性及び収量性

| 品 種 | 開花 期 (月/日) | 収穫 適期 (月/日) | 主 莖 | | | 2粒莢 | | 平均 一莢重 (g) | 規格内 収量 (kg/a) | 3粒 莢率 (%) |
|--|------------------|-------------------|-------------|------|-----|------------|------------|------------------|---------------------|-----------------|
| | | | 主莖長 (cm) | 節数 | 分枝数 | 莢長 (cm) | 莢幅 (cm) | | | |
| ハウス半促成：H18/2/25、H19/2/27播種、H18/3/18、H19/3/19定植 (2ヶ年平均) <千葉> | | | | | | | | | | |
| 月夜音(つまよね) | 4/29 | 5/27 | 48.0 | 9.8 | 2.2 | 5.92 | 1.36 | 2.34 | 58.1 | 28.6 |
| 他社T | 5/3 | 5/28 | 52.2 | 10.0 | 3.2 | 5.62 | 1.29 | 2.46 | 52.5 | 23.0 |
| サッポロミドリ | 5/4 | 6/2 | 63.2 | 9.4 | 3.2 | 5.50 | 1.35 | 2.25 | 48.1 | 26.1 |
| サヤムスメ | 5/5 | 6/2 | 61.4 | 9.8 | 2.8 | 6.03 | 1.42 | 3.07 | 52.9 | 18.9 |
| 英音(さやね) | 4/28 | 5/27 | 47.6 | 8.8 | 3.4 | 6.25 | 1.29 | 2.78 | 51.3 | 17.6 |
| トンネル早熟：H16/3/9、H18/3/15、H19/3/14播種、H16/3/29、H18/3/26、H19/3/27定植 (3ヶ年平均) <千葉> | | | | | | | | | | |
| 月夜音(つまよね) | 5/7 | 6/11 | 28.7 | 8.7 | 2.3 | 5.42 | 1.26 | 2.03 | 77.1 | 30.0 |
| 他社T | 5/8 | 6/12 | 34.5 | 9.2 | 2.8 | 5.48 | 1.21 | 2.75 | 73.5 | 18.2 |
| サッポロミドリ | 5/10 | 6/15 | 38.3 | 8.3 | 3.0 | 5.80 | 1.30 | 2.59 | 70.8 | 34.8 |
| サヤムスメ | 5/9 | 6/15 | 36.0 | 8.8 | 2.5 | 6.70 | 1.36 | 3.12 | 73.6 | 20.6 |
| 英音(さやね) | 5/7 | 6/13 | 25.5 | 7.3 | 2.0 | 6.64 | 1.30 | 3.11 | 68.1 | 17.5 |

試験場所：雪印種苗(株) 千葉研究農場：千葉県千葉市